

山 口 新 聞

平成 26 年 10 月 24 日 (金)

NO.126

農地・水・環境

守ろう地域の手で



126

当会は厚東川中流に広がる平坦な水田地帯に位置し、主に農地の法面や水路の草刈り、農道への砂利の補充、地区内のゴミ拾いなどの環境保全活動に、農業者と非農家が共同で取り組んでいる。

会の母体である「農事組合法人あいのう木田」は、宇部市学校給食応援団の一

市街地の親子を対象に実

員として、ジャガイモ、ニンシンの栽培に力を入れ、市内の学校に給食用の食材を供給。こうした取り組みをきっかけに、子どもたちとの交流も行われるようになった。

木田環境保全会(宇部市)

食育に未来を託す!

施したジャガイモの収穫体験、蒸し芋の試食会は好評を得た。地元の児童との交流では収穫体験に加え、栽培についての出前授業、ジャガイモを使った給食の食事会など食育活動にも取り組み、地域農業を支える人材の誕生に期待を寄せている。

この制度の活用によって地域の連携意識が高まり、活動への参加者も増加している。一方で担い手の高齢化による課題も多いが、関係組織との連携を一層強化し、農村環境の向上に努めたい。

(会計、吉富勉)

|| 金曜日掲載 ||



会員の皆さん



ジャガイモの収穫を体験する児童たち

【メモ】代表 || 内藤哲夫
 ▽ 会員 || 17人、農家 (13
 戸)、農事組合法人、営
 農組合、水利組合、自治
 会、婦人会、子供会 ▽ 設
 立 || 2007年3月18日
 ▽ 連絡先 || 宇部市木田6
 25、内藤哲夫さん ☎ 0
 8366・62・0906